

IBCつながるアプリ 新機能「キキクル ON ハザードマップ」公開

～危険度分布+ハザードマップ/よりパーソナルな防災情報をスマホに配信～

株式会社IBC岩手放送は15日、「IBCつながるアプリ」の新機能として「キキクルON ハザードマップ」を公開した。IBCとゲヒルン株式会社(東京都千代田区・石森大貴代表)の共同プロジェクトとして開発したもので、岩手県内の洪水・土砂災害のハザードマップの上に、気象庁のキキクル(危険度分布)情報を重ねて表示できるようにした。新機能ではスマホの画面に表示される地図上に、岩手県内の洪水・土砂災害のハザードマップをそれぞれ表示。これに5段階で色別表示されるキキクル(危険度分布)情報を重ねて表示する。2つの情報を組み合わせることで、ユーザーは災害が迫っている状況をピンポイントで、より正確に確認することができる。

なおハザードマップは岩手県の最新情報(2021年9月時点)を地図上に反映。これは平時でも確認できる。またキキクル情報は、洪水・土砂災害だけでなく浸水害の情報も配信する。さらに雨雲レーダーで雨の降り方を地図上にリアルタイム表示する。それぞれの情報は機能ボタンを選択するだけで簡単に確認できる。

これまでハザードマップやキキクル情報は別々に確認するしかなかったが、これをスマホの地図上に同時表示させることで、ユーザーの利便性は大きく向上。放送では伝えきれなかった、それぞれのユーザーが必要な、より狭い範囲の情報を分かりやすく表示し、災害時の避難など身近な防災情報として役立ててもらおう。

「キキクル ON ハザードマップ」配信イメージ



岩手県内の洪水・土砂災害最新ハザードマップ掲載



ハザードマップ上に河川の危険度分布(キキクル)表示



ハザードマップ上に土砂災害危険度分布(キキクル)表示



高解像度降水ナウキャストで雨雲状況をリアルタイム表示



【IBCつながるアプリ】

2011年の東日本大震災を経験したIBC岩手放送が、被災地発のアプリとして2014年に自社開発したニュース・防災アプリ。地震・津波などの速報のほか県内自治体の避難情報などをプッシュ通知する。また、こうした緊急情報を時系列でユーザーの居住地ごとに分かりやすく表示する「防災タイムライン」機能も搭載している。

IBCつながるアプリ <https://www.ibc.co.jp/appli/>